

第4分科会研究課題「組織・運営に関する課題」

学校運営協議会と地域学校協働活動の 運営をスムーズにするための取組

～真庭支部全体でのICT活用をとおして～

提案者 岡山県真庭支部教頭会

新庄村立新庄中学校

真庭市立湯原中学校

小川 誠

木村俊弘

1 主題設定の理由



小学校 21校

中学校 7校

計 28校

ほとんどの学校が小規模校で、全体の半分にあたる14校がへき地・複式の学校である

【真庭支部の現状】

少子高齢化が進んで、地域の教育力が弱くなっている



「地域とともにある学校」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて

学校運営協議会と地域学校協働活動を活性化させていく

【学校運営協議会と地域学校協働活動の現状】

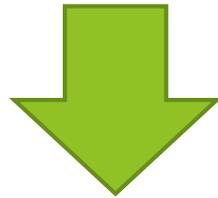
取組の年数の違いにより、先行して導入している学校とこれから立ち上げる学校とがあり、困り感や課題となっていることが学校によって大きく違う



これから立ち上げる学校や取組年数の浅い学校
→先行して実施している学校の取組を参考

真庭支部内の学校は規模も取組年数も様々
→同じような規模や取組年数の学校の取組を参考

どのように研究を進めていくのか？



ICTの活用

各校の取組状況の共有化を図ることで取組の参考とする

情報交換の場としての活用を図り、共有化されたデータベースによりいつでも閲覧できる環境を整える

2 研究のねらい

真庭支部内の取組を共有し、そのデータベースを活用することで、学校運営協議会と地域学校協働活動の運営をスムーズに行う



学校運営協議会と地域学校協働活動の活性化



地域の教育力の向上

3 研究の経過

(1) 1年次【令和3年度】

- ① 研究主題の設定
- ② 研究内容の検討
- ③ 情報交換および現状の問題点と課題の考察

(2) 2年次【令和4年度】

- ① 各学校における取組の情報交換・意見交換
- ② グーグルサイトを活用して情報共有サイトの作成
- ③ 情報共有サイトを参考にして各校で実施
- ④ 講演会(学校運営協議会と地域学校協働活動について)の開催

(3) 3年次【令和5年度】

- ① 各学校における取組の情報交換・意見交換
- ② 情報共有サイトを参考にして各校で実施
- ③ 成果と課題

4 研究の概要

(1) グーグルフォームを活用して各校の取組状況調査の実施

① 各校の取組状況調査の実施



② 調査結果をもとに情報交換・意見交換



③ 先行実施校への質問項目の決定



④ 先行実施校3校の事例のデータベース化

① 各校の取組状況調査の実施

学校運営協議会と地域学校協働活動について
各校の取組状況を把握するために



グーグルフォームを活用して各校に調査を行い、
その結果をグーグルスプレッドシートを活用して
集約してデータベース化をした

【調査内容】

学校運営協議会と地域学校協働活動について

- ・設置の有無
- ・設置への働きかけ
- ・取組年数
- ・取組回数
- ・成果と課題

調査結果のグーグルスプレッドシート

各校からのアンケート結果

研修会で、「学校運営協議会をスタートさせて何年目か？」等、自校と年数や状況の近い、他校の様子を聞きたい。”
という意見がありましたので先生方をお願いした結果の一覧表になります。

各校アンケート結果							📄
学校名	学校運営協議会(C・S)についてお伺いします。	取り組みを始めて何年目ですか？	学校運営協議会を導入したきっかけについてあてはまるものを教えてください。	学校運営協議会は年に何回開催していますか？	学校運営協議会を行って初めての成果は何ですか？	学校運営協議会を行って初めての課題は何ですか？	いつから予定で？
富原小	×						令和5年
月田小	×						令和5年
勝山中	×						令和5年
湯原学園	○	2	教育委員会	5月,9月,12月,2月	何か役立ちたいと思われている方が学校へ地域人材の提供を行ってくださった。	学校と共に「運営」していくという意識を醸成するにはもう少し時間がかかりそうです。	
蒜山中	○	1	学校 教育委員会	4	地域の声は今まで以上に聞けそうである。	地域学校協働本部との関係をどう構築していくか。	
草加部小	○	1	教育委員会	4月,10月,2月	今年度始めたばかりで、成果はまだ感じられていません。	今年度始めたばかりで、課題の洗い出しができていません。	

② 調査結果をもとに情報交換・意見交換

調査結果をもとに、教頭研修会で学校運営協議会と地域学校協働活動について、グループに分かれて情報交換・意見交換



成果も見られたが、いろいろな課題も見つかる

【成果】

- 何から手をつければよいかわからない状態であったが、グループの中の学校運営協議会が既に4年目の学校の取組が参考になった。
- 津山教育事務所の方に来ていただき、学校運営協議会についての説明を受けた。そのことによって学校運営協議会で熟議が行われるようになった。
- 学校運営協議会は4年目で、昨年度は「子どもたちにどんな力をつけさせるか」についての熟議を行うことができた。

【課題】

- まだ学校運営協議会が以前の学校評議員会を引き続き行っているような感じがする。
- 昨年度から学校運営協議会を行っているが、学校側と学校運営協議会委員との温度差がある。
- 来年度から学校運営協議会を行う予定で、今は準備委員会で話を進めているが不安である。
- 地域学校協働本部がないので、活動が全然できていない。

③ 先行実施校への質問項目の決定

グループ協議で見つかった課題



どのように取り組んでいくか？

学校運営協議会と地域学校協働活動の先行実施校の取組が問題解決に効果的である



先行実施校3校決定・質問項目の決定

【質問項目】

- 学校の取組について、地域の方にどのように理解や協力してもらうか？
- 学校運営協議会の人選は、どのように行うのがよいか？
- 「学校・家庭・地域」を、どのように連携していったらよいか？
- 「地域学校協働本部」との関係について？

【質問項目】

- 「学校」と「学校運営協議会」の温度差をなくすために、どうしたらよいか？
- 年3回の「学校運営協議会」のみのつながりにならないようにするための工夫は？
- 地域学校協働本部の組織について、学校が事務局も兼ねているので、何かよい方法はないか？
- その他、何か効果のあった取組や事例があればお願いします。

④ 先行実施校3校の事例のデータベース化

これらの質問項目について、先行実施校3校に「成功した事例」「工夫した事例」について
グーグルフォームで回答



その結果をグーグルスプレッドシートを活用して
データベース化

先行実施校での取り組みの紹介

先行実施校での取り組みの紹介

北房学園・中和小・新庄学園での取り組み実践をのせています。各校で参考にしてみてください。

先行実施校の取り組み：閲覧用

先行実施校の取り組み	中和小学校	北房学園	新庄学園
学校の取組について、地域の	<ul style="list-style-type: none">・学校運営協議会での情報共有。学校運営協議会委員から地域住民への拡散。・校内研修への学校運営協議会委員、中和いきいきサポーターズ倶楽部※1の積極的参加。 (ほぼ毎回の参加を得ている。学校が目指す「学び」の共有を図るとともに、その「学び」を地域でも推進していただいている。)・学校通信、HP等による学校からの情報発信。	<p>【学校運営協議会】</p> <ul style="list-style-type: none">・学校長（こども園、小学校、中学校）が、学校運営協議会の場で現状等について説明する。・学校公開日に参観いただく（2年ほどは、コロナ禍で実施できていませんが）。・学校行事に参加いただく。・学校支援ボランティアとしてご協力いただく。・HPに掲載する。 <p>【地域学校協働活動】</p>	<ul style="list-style-type: none">・「学校だより」を保護者なく、村内の公共機関・地回覧している。・「村広報誌」に学校の取組の方に読んでもらっている。・学校運営協議会で情報共有協議会のメンバーから地回覧している。

閲覧用

(2) 講演会の開催

学校運営協議会と地域学校協働活動についての知識を深めるために



津山教育事務所の生涯学習課長を講師に招いて、『地域学校協働活動と学校運営協議会の連携・協働 ～これからの学校・家庭・地域のあり方を考える～』についての講演会を開催

真庭支部教頭会 第2回研修会

地域学校協働活動と 学校運営協議会の連携・協働 ～これからの学校・家庭・地域のあり方を考える～

令和4年8月22日（月）
津山教育事務所生涯学習課
課長 塚崎 好起



©岡山県「ももっちとなかまたち」

【講演会を聴いての意見・感想】

以前の学校評議員の流れが残っていて、学校運営に関して「～な教育をしてほしい」「～な子どもの姿が見られるような教育活動をしてほしい」という意見が出てくる。しかし、今日の話聞いて、そうではなく「〇〇な子どもの姿が見られるように、地域はどんなことができるのか考える会」にしなければいけないのだなと思いました。

【講演会を聴いての意見・感想】

地域学校協働活動と学校運営協議会について理解を深めることができた。真庭支部内だけでなく、他の地域の活動も紹介していただき、具体的なイメージを持つことができてよかったです。実際に推進員の苦労や喜びの声を聞く機会があれば嬉しいです。

【講演会を聴いての意見・感想】

来年度のスタートに向けて、学校運営協議会と地域学校協働活動の違いと働きが明確になりました。とても分かりやすく話してくださり、改めて何をどうするのかについて準備委員会で相談し、また目指す子ども像について熟議していきたいと思います。

(3) 真庭支部教頭会のサイトの作成

先行実施校の回答をデータベース化してクラウド上で管理することで効率化を図るために各校の情報について追加や変更をリアルタイムで可能とすることで、素早い情報の共有化を実現するために

何か質問があったり困ったことがあった際に気軽に相談ができるために



『真庭支部教頭会のサイト』の作成

真庭支部教頭会のサイト

目的

真庭支部教頭会で「学校運営協議会」「地域学校協働活動」について情報共有を進めて行きます。

令和5年度発表に向けてサイトの活用を推進していきたくと思います。

★ページ下部には文部科学省や経済産業省等へのリンクもありますので、ご活用下さい。

★他校に聞いてみたいことがあれば下の質問フォームへ入力してください

① 真庭市と新庄村の情報共有が可能

真庭市と新庄村で情報共有することができなかった



サイトを作成することで行政を超えて共有することが可能となった

② 相談部屋の作成

学校運営協議会と地域学校協働活動を推進する中で、質問や困り感が出た場合



問い合わせ先(グーグルフォーム)の作成

サイト内にいつでも質問できる場所(グーグルスプレッドシート)の作成

相談部屋

相談部屋：質問フォームに届いた質問や意見をのせています。また、直接書き込むこともできます。

みなさんどんどん書き込んでください！

相談部屋：シート1

Q	A	Qに質問や疑問（新しい質問は番号を変えてください） Aに返答（対応する質問番号）を
1		（例）学校運営協議会の際に、熟議を行うのに何か良い取り組みはありますか？
	1	（例）グループごとに学校ビジョンに関してKJ法を実施する
2		地域学校協働本部の事務局（通帳管理含む）を学校がしないといけなのか？回避するためのアイデアや方法が知りたい
	2	単独校だけで動くのではなく、支部教頭会として市教委や市役所（振興局）に話をする必要があると思います

③ リンクの貼り付け

学校運営協議会と地域学校協働活動について調べたい場合



参考・活用できそうなサイトやページのリンクの貼り付け

【内容】

文部科学省サイト, コミュニティ・スクール, 学校と地域で作る学びの未来 等

文部科学省・経済産業省サイトリンク

文部科学省・経済産業省サイトリンク

コミュニティ・スクール

STEAMライブラリー

StuDX Style

学校と地域でつくる学びの未来

CSポートフォリオへのリンク

④ 取組実践の事例

自校での取組実践をあげる



真庭支部内で共有して、それぞれの学校で参考にする

湯原学園の取組実践

湯原学園学校運営協議会の様子 ⇄



“地域が求める湯原小中生の姿”というテーマでグループに分かれて熟議を行いました。

湯原学園では令和5年度より地域学校協働本部がスタートします

スタートに向けての取り組み

- ・学校運営協議会のメンバーからコーディネーターの決定
- ・準備委員会を立ちあげ、小中学校に関わっていた地域の方をリストアップし一覧表を作成
- ・湯原振興局の協力で新たな地域の人材の掘り起こし
- ・リストにある団体の代表者を集めて、趣旨説明の会を12月に実施

新庄学園の取組実践

新庄学園の取組

令和3年度 第2回学校運営協議会 9月16日(木)

小学校長がファシリテーターとなって、「新庄っ子の伸ばしたいところ」「私たちにできること」について各グループに分かれて熟議をして発表した。【話し合い30分・発表5分】



『人とつながる力』『コミュニケーション能力』を伸ばしていくこと「しっかりあいさつをして声かけをしていくこと」に決定した。

令和3年度 第4回学校運営協議会 2月22日(火)

『コミュニケーション能力』を伸ばしていくことについて熟議を行った。

令和4年度 第1回学校運営協議会 5月24日(火)

中学校教頭がファシリテーターとなって、子どもたちのコミュニケーション能力を伸ばしていくために、地域・家庭・学校それぞれが具体的にどんなことができるかについて、地域・家庭・学校の3グループに分かれて熟議をして発表した。



【コミュニケーション力を向上させるために】

地域では…学校に足を運んでいただき、子どもたちの様子を見てもらったり、関わりをもってもらったりしよう

家庭では…子どもに話をさせ、しっかり聞くようにしよう

学校では…話し合いの場面を多くつくろう 他校との交流にも力を入れよう

令和4年度 第2回学校運営協議会 9月15日(木)

コミュニケーション力を向上させるために、地域・家庭・学校がミックスされた3グループに分かれて熟議をして発表した。



コミュニティ・スクール通信

八東小学校 学校運営協議会



コミュニティ・スクール通信

No. 5 令和5年(2023年)8月24日(文責: 丸山)

サマースクール 八東塾

〇(まる)付け ボランティアのみなさん

ありがとうございました!



7月20日、21日、24日の3日間で実施した「サマースクール 八東塾」ボランティアの方々にお世話になり、子どもたちはみっちり基礎学力の定着と1学期までの復習を行うことができました。今年度は24名の方がボランティアとして協力してくださいました。丸付けをしながら、「ようがんばってるなあ!」「すごい!」「どこがわからんかな?一緒に考えてみようや」と声をかけてくださり、子どもたちのやる気も倍増!70分間を集中して取り組むことができました。担任も個別に子どもたちに関わることで、苦手なところやつまづいているところを見取ることができ、今後の指導にいかすことができそうです。充実した八東塾になりました。ありがとうございました。



八東小運動会で 大宮踊を子どもたちと一緒に踊りませんか?

運動会に向けて、大宮踊の練習を次の予定で行います。大宮踊保存会の方にご協力いただいています。よろしければ、保護者、地域の皆様も練習にご参加いただき、運動会当日も一緒に踊りませんか?参加申し込み等は必要ありません。時間に体育館またはグラウンドにお越しください。

練習予定

8月31日(木) 3校時(10:45~11:30)1・2年生【体育館】
9月5日(火) 2校時(9:40~10:25)1・3・5年生【体育館】
3校時(10:45~11:30)2・4・6年生【体育館】
9月8日(金) 2校時(9:40~10:25)全校【グラウンド】
運動会 9月14日(木) 大宮踊り(11時前後の予定)

お問い合わせはこちらまで

〇八東小学校 66-2015 担当:岡田伊知郎(教頭)・地域学校協働本部長 丸山 泰子(66-2838)

コミュニティ・スクール新聞

河内小コミュニティ・スクール新聞

河内小 学 校
学 校 通 信 部
編 集 部
第 1 号
2015年2月20日

地域学校協働活動

河内小学校は平成28年よりコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）となり、今年度から新たに児童が積極的な役割を担って活動を始めました。

地域学校協働本部員、学校と連携して子ども達の学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを推進します。その中で、高度な教育委員会に委嘱された「地域学校協働活動推進員」が学校と地域の橋渡し役として活動しています。

推進員の紹介



佐藤 由紀



藤原 山登



山本 美穂

推進員は協議会や他より連絡調整、情報交換など、地域と学校をつなぐ役割を担っています。子どもや学校のことを重視し、河内地域の発展を活かして、地域の企画や活動についての想法を行っています。皆さんの思いが叶えられるように取り組んでいきます。

スローガン 発表！

すずんであいさつし、たくましくチャレンジを続ける子

昨年11月にコミュニティ・スクール推進員が
あの「地域の未来と河内の子ども達」を児童学
習推進者の声や意見を交えて無言で話し合いました。
その結果をもちに、今年2月の学校運営協議会で
スローガンが決定しました。

河内の子どもが持っている「無言で動いて一
歩前進運動」に賛かする1人1人を強固にかけ、
進んであいさつし、いざいざ進んで進んでい
ながら、さらに夢に向かってチャレンジを続
けてほしいという願いを込めました。



<研修会の様子>

新年ボランティアを募集します！

- ・学年別の見守り、学習支援など、地域の皆様のご協力をお願いいたします。
- ・子ども達のためにご協力いただける方は、お気軽にボランティア登録申請書にご記入の上ご提出ください。（詳細は年度ご依頼の方にご確認ください）

河内小学校では、ボランティアをして下さる方を随時募集しています。お問い合わせは
082744-2649（担当：教員）まで。

河内小学校CS新 聞1号

一部のみアップしてい
ます

4 研究の成果と課題

(1) 成果

- 『真庭支部教頭会サイト』を作成して、ICTを活用することで、各校の取組状況や先進実施校への質問項目の回答状況等の把握をいつでも行うことができた。
- 取組内容が共有されることで、更に聞きたい場合は直接連絡をとることが容易に行えた。

【意見・感想】

- ・情報を共有していつでも見える状態にすることで、困ったときにすぐに調べたりすることができた。真庭支部内は広いので、移動時間を考えるとICTの活用は有効であった。
- ・同規模の学校の取組は参考になり、困り感も似ているため相談をしやすかった。また、体制整備や連携の在り方など参考になった。

【意見・感想】

- ・教頭会サイトの開設により情報交換が容易になったり、協議グループだけでなく全学校と情報交換が可能となったりした。また、最新情報の掲載や他支部の工夫された取組の紹介なども可能になり、多忙である教頭の業務改善にもつながった。
- ・先進校の取組を共有でき、これからスタートする学校にとっては、具体的な取組を知ることができて参考になった。

(2) 課題

○サイトへの投稿が大変少なかった。もう少し活発にサイト上で意見交換ができればよかった。

○ICT活用に得意不得意があるので、全員が十分に活用できなかった。もう少し丁寧に説明や使い方についての時間を設ければよかった。

【意見・感想】

- ・教頭だけでなく行政の担当者や地域のコーディネーター等ともサイトによって繋がることで更に幅が広がると考えられる。
- ・教頭自身がその情報を「取りに行く」ようにしなければ何も起きない。多忙な業務の中での優先順位があまり高くなく、今ひとつ「自分事」になっていない。

【意見・感想】

- ・ICTは有効な手段だと思うが、個人により差があるので、活用研修などみんなですべて実際に使う場面があっても良かったと思う。実際の場面を見ながら使ってみることが良い研修になる。
- ・今後、毎年メンバーが入れ替わる中でデータベースを効果的に更新・活用していくためには、研修部を中心としたサイトの運用とデータベースの更新を進め、活用のための研修の充実を図る必要がある。

ご清聴ありがとうございました。

第4分科会研究課題「組織・運営に関する課題」

学校運営協議会と地域学校協働活動の 運営をスムーズにするための取組

～真庭支部全体でのICT活用をとおして～

提案者 岡山県真庭支部教頭会

新庄村立新庄中学校

真庭市立湯原中学校

小川 誠

木村俊弘